

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年12月24日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊丹市	代表者名	藤原 保幸
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	072-784-8018
担当者役職	事務員	担当者氏名	花高 舞
住所	664-8503 兵庫県伊丹市千僧1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡田 亮介
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年12月22日	10時00分	15時30分		330
3-2. 派遣場所	会場名	伊丹市役所		最寄駅	阪急伊丹駅
	所在地	兵庫県伊丹市千僧1-1		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	幹部職員	58人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	これまでのIT化で求めた業務効率化だけではなく、市民にとってどのような便益がもたらされるかという市民目線を持ち、全体最適の視点から行政サービスをできるように、行政デジタル化に関する感度を持った職員の育成が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	行政課題の解決や生産性向上のためのデジタル技術活用、また政策立案の精度向上のためのデータ活用を推進するにあたっての職員の意識醸成。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	幹部職員に対して、行政のデジタル化に関する講演会を実施した。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	行政のデジタル化について、岡田氏より講演いただいたことにより、幹部職員に対して、組織の在り方や職員の意識改革の必要性を認識させることが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 質疑応答・意見交換会の時間を設け、十分受講者からの意見を聴取することが出来たため	
5-3. 今後の計画 事業の最終的な目指す姿	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

